

英 語

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言、発表等）
- ②提出物（問題集、ノート、ワークシート、問題演習プリント、その他のプリント等）
- ③制作物（レポート、各種課題等） ※制作物による評価を行わない場合もあります。
- ④リスニングテスト（定期考査内で行う場合があります。単元テスト等として行う場合があります。）
- ⑤リーディングテスト（定期考査内で行う場合があります。単元テスト等として行う場合があります。）
- ⑥スピーキングテスト（定期考査内で行う場合があります。授業内でのディスカッション、ディベート、発表等を含みます。）
- ⑦ライティングテスト（定期考査内で行う場合があります。単元テスト等として行う場合があります。）
- ⑧定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。								
観点	学習活動	① 授 業 観 察	② 提 出 物	③ 制 作 物	④ リ ス ニ ン グ テ ス ト	⑤ リ ー デ ィ ン グ テ ス ト	⑥ ス ピー キ ン グ テ ス ト	⑦ ラ イ テ ィ ン グ テ ス ト	⑧ 定 期 考 査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び技能	(△)	(△)	(△)	○	○	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●正確な文字・単語・熟語の知識を身につけることが大切です。 ●発音・意味・綴りをしっかり理解しておくことが大切です。 ●正確な文法知識を身につけることが大切です。
思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現力等	(△)	(△)	(○)	○	○	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●自力で、即興で、言ったり、書いたりする能力を身につけることが大切です。 ●自力で、即興で、聞いたり、読んだりする能力を身につけることが大切です。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	(◎)	○	○	○	○	(△)	<ul style="list-style-type: none"> ●提出物等は、やるべきものをすべてやっていること、期限までに提出することが大切です。 ●聞くこと・読むこと・話すこと（やりとり）・話すこと（発表）・書くことに積極的に取り組んでいる態度を評価します。（結果は問いません） ●あきらめずに粘り強く何度もトライすること、あるやり方で失敗しても別のやり方を模索し続けて目標を達成しようとしている ことなどが大切です。
	感性・思いやり	個人内評価								各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・「聞くこと」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。
- ・「読むこと」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。
- ・「話すこと（やりとり）」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。
- ・「話すこと（発表）」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。
- ・「書くこと」[知識]英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
[技能]実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

- ・「聞くこと」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要・要点を捉えている。
- ・「読むこと」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要・要点を捉えている。
- ・「話すこと（やりとり）」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。
- ・「話すこと（発表）」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。
- ・「書くこと」コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え・気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・「聞くこと」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
- ・「読むこと」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。
- ・「話すこと（やりとり）」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
- ・「話すこと（発表）」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
- ・「書くこと」外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。

英語科では、それぞれの観点(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点)について、内容(「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の5内容)ごとに能力を評価します。したがって、毎学期、3観点×5内容=15種類の評価を行うことになります。

15項目中、定期考査の結果が大きくかわるのは、以下の表で○印が付いている6項目です。他の項目については、原則、定期考査以外で能力を評価していくことになります。

「通知表」で生徒に通知されるのは、以下の表の評価①～⑤を総括した「知識・技能」の評価(A・B・C)、評価⑥～⑩を総括した「思考・判断・表現」の評価(A・B・C)、評価⑪～⑮を総括した「主体的に学習に取り組む態度」の評価(A・B・C)、および、評価①～⑮を総括した評定(5・4・3・2・1)です。

		聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ●文字・単語・熟語問題 ●文法問題 ●1つの文を聞いて(読んで)その内容を理解する問題 ●1つの文を話して(書いて)情報を伝える問題 	評価① ○ ※	評価② ○	評価③ ×	評価④ ×	評価⑤ ○	評価①～⑤ 【計35点】 35点中の達成率に基づいて、A、B、Cの評価を与える。	評価①～⑮ 【計100点】 100点中の達成率に基づいて、5、4、3、2、1の評定を与える。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の文を聞いて(読んで)その内容を理解する問題 ●複数の文を話して(書いて)1つの(または1つ以上の)まとまった情報を伝える問題 	評価⑥ ○ ※	評価⑦ ○	評価⑧ ×	評価⑨ ×	評価⑩ ○	評価⑥～⑩ 【計35点】 35点中の達成率に基づいて、A、B、Cの評価を与える。	
主体的に学習に取り組む態度	●聞くこと・読むこと・話すこと・書くことを積極的に行おうとする態度を見るもの。(結果は問いません。)	評価⑪ ×	評価⑫ ×	評価⑬ ×	評価⑭ ×	評価⑮ × ※※	評価⑪～⑮ 【計30点】 30点中の達成率に基づいて、A、B、Cの評価を与える。	

○・・・定期考査が大きく影響する項目

×・・・原則、定期考査以外で評価をする項目

(※印は、定期考査以外で評価する場合があります。)

(※※印は、定期考査で評価する場合があります。)